

平成 23 年度 市政運営会議 議事概要

日時	平成 23 年 12 月 5 日(月) 10:30～11:05
議題	福岡市拠点文化施設基本構想(案)について
出席者	高島市長、山崎副市長、渡邊副市長、大野副市長、 総務企画局長、理事、財政局長、理事、市民局長 ほか
決定事項	<p>福岡市拠点文化施設基本構想(案)を下記の通りとする。</p> <p>1. 拠点文化施設の整備の必要性</p> <p>市民会館は、その設備・機能の劣化への対応が改修等では極めて困難であり、今日求められている文化政策のあり方や福岡市における文化環境の現状と課題を踏まえ、時代にふさわしい拠点文化施設として再整備する必要がある。</p> <p>2. 拠点文化施設の基本的考え方</p> <p>(1)位置づけ</p> <p>①福岡市独自の文化を象徴し、牽引していく文化芸術の拠点であり、福岡市の文化政策を推進する拠点施設</p> <p>②都市の魅力を創造する貴重な財産として、集客や観光資源としても活かすことができる、都市戦略の推進を担う重要な拠点</p> <p>(2)役割</p> <p>①福岡らしさの創造発信 ②あらゆる市民が文化芸術に触れる場</p> <p>③市民の文化活動の醸成・支援 ④交流の促進 ⑤人材の育成</p> <p>(3)整備場所</p> <p>①現市民会館が立地し親しまれてきたこと、都心部の交通利便地であること、集客上も有利であることなどから、須崎公園地区に整備することとする。</p> <p>②整備にあたっては、須崎公園の再整備と連携し、両施設の魅力が相まって内外から多くの人が集まる、潤いに満ちたみどり空間および文化芸術の拠点となるエリアの形成を目指す。</p> <p>③水辺エリアや周辺施設との連携を進め、アジアからの集客をも視野</p>

	<p>に、エリアを超えた回遊性向上や北天神全体の活性化を図り、福岡市のまちづくりに寄与する。</p> <p>3. 機能と事業の方向性</p> <p>①創造発信機能 ②創造活動支援機能 ③鑑賞機能 ④交流機能 ⑤普及機能 ⑥センター機能 ⑦人材育成機能</p> <p>上記機能に沿った事業展開を検討する。</p> <p>4. 施設・設備</p> <p>①大ホール ②中ホール ③小ホール ④創造支援施設(稽古場等) ⑤その他の設備・施設(交流スペース、情報サロン等)</p> <p>5. 運営</p> <p>運営主体、人材には専門性が求められる。</p> <p>6. その他の検討事項</p> <p>整備手法等</p> <p>3～6については、今後詳細を検討し、基本計画で確定させる。</p>
<p>主な意見</p>	<p>○公園との一体性は必要、鍵となる。海と川に開かれたまちづくりという視点と、天神とウォーターフロント間の回遊の拠点という考え方を取り入れるべき。投資に対して回遊性が高まることによる波及効果、費用対効果の整理が必要。</p> <p>○公園との一体性などスケジュールを考える必要があるが、可能であれば、民間の力を活用して、完成時期を早められないか。</p> <p>○市全体としてバランスを考えた上で、新たに必要なホールや、周辺の文化施設をどうするか、といった議論が必要。</p> <p>○市内の文化関係施設・ホールの全体のあり方・バランスを議論した上で、必要な施設規模の詳細を決定すべき。</p> <p>○整備費用はPFIも含めて工夫が必要。他都市ではネーミングライツで整備費用の半分を民間から出してもらった例もあるので、そういった企業を探すことも必要。</p>

- 創造支援がないと拠点文化施設として機能しないのではないかと。一方で、創造支援機能などを、行政としてどの程度までやるのかは、しっかり考えるべき。
- 完成までの間に、人材とノウハウを育てていかないと、施設だけでは意味がない。創造支援をやる上では、コンテンツ、集客などの分野との連携をしっかりとっていくことが重要。
- 須崎公園地区には、現在、福岡県立美術館が立地しており、今後、福岡県にて再整備の構想が検討されていくと思われる。整備スケジュール等について、福岡県との調整が必要である。
- 現市民会館の再整備の必要性については、十分に理解しているが、今回、専門性の高い中ホールや創造支援施設を新たに整備し、創造発信機能や人材育成機能などの事業を付加することについては、本市の厳しい財政状況を踏まえ、都市戦略上の意義や市民への還元効果などについて、更なる整理が必要であり、現段階において、大・中・小ホール等をフルセットで整備するという方向性を決定し、公表することは困難である。
- ホールのあり方や創造発信機能については、周辺の文化施設の有効活用や今後のあり方の検討とあわせて整理する必要があると考える。
- 拠点文化施設の基本的な考え方として、集客や観光資源としても活かすこととなっている。このため、整備にあたっては広域的な集客の観点から大型観光バスを含めた駐車場の確保をお願いしたい。
- 須崎公園地区は、アジアの活力を取り込むウォーターフロントエリアと天神エリアとを結ぶ重要な地区であり、エリア間の連携強化や魅力ある空間を創出し、本市の国際競争力の強化を図るため、須崎公園の再整備と連携した拠点文化施設の整備が望ましいと考える。
- なお、須崎公園地区での拠点文化施設の整備にあたっては、須崎公園の面積、機能を確保した上で、拠点文化施設の規模や配置、整備手法の検討を行う必要があるため、引き続き協議いただきたい。